

2011 年度 小委員会活動成果報告

(2011 年 2 月 12 日作成)

小委員会名	感覚・知覚心理小委員会		主 査 名：西名 大作 就任年月：2009 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 環境心理生理運営委員会		委員長名：佐土原 聡 主 査 名：松原 斎樹
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2013 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	設置目的：本小委員会は、感覚・知覚心理をキーワードとする横断的な組織として、研究交流を活発化することで、本学会の発展に寄与することを目的とする。 活動計画：感覚・知覚心理に関し予め設定したテーマに沿って適当な研究者を委員内外より選定、シンポジウムを開催する。本年度は 1～2 回の開催を予定した。		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有 秋田剛 (東京電機大学), 梅宮典子 (大阪市立大学), 太田篤史 (横浜国立大学), 合掌頭 (岐阜大学), 澤島智明 (佐賀大学), 竹原広実 (京都ノートルダム女子大学), 竹村明久 (大同大学), 土田義郎 (金沢工業大学), 西名大作 (広島大学), 原直也 (関西大学), 原田昌幸 (名古屋市立大学), 松原斎樹 (京都府立大学), 光田恵 (大同大学), 宮本征一 (摂南大学), 山中俊夫 (大阪大学) 以上 15 名		
設置 WG (WG 名：目的)	なし		
2011 年度予算	142,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	建築空間における感覚・知覚心理シンポジウム (第 10 回)「人間行動と感覚・知覚心理研究－行動データをどのように分析するか」(2011.11.12) 参加者数：24 名
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	本年度はシンポジウムを 1 回、小委員会を 5 回 (1 回は予定) 開催した。前者は年 1～2 回開催の目標を達成したと言える。ただし、手続き上のミスから当初計画の 7 月から 11 月に開催時期が遅延したことは反省点である。また、活動成果の刊行物化については、本年度、十分に議論が尽くされておらず、小委員会の設置期間の最終年度にあたる来年度には何らかの結論を得たいと考えている。
委員会活動の問題点・課題	昨年度、委員会活動の問題点として、常時出席の委員とほとんど欠席の委員に分かれることを挙げ、委員会開催前の意見収集の充実、メール審議の多用などの対策の必要を指摘したが、今年度も十分に改善されたとは言えない。